

リアスタンドアジャスタブル 3 本体のみ

適応
車種各種
アタッチメント商品
番号

39239

■ご使用前に必ずご確認ください■

- 本商品のご使用前に最終項に記載のURL(保証規定)より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。
- 本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

⚠ 警告

要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。



禁止

- ・本商品はメンテナンスをするための商品です。スタンドを使用した状態で保管や長期間の使用をしないでください。
- ・本商品はリア回りのメンテナンスを行なうためのスタンドです。スタンドの使用中は乗車やエンジンの始動はしないでください。

⚠ 注意

要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。



実施

- ・パッケージ開梱時や商品の取り扱い時にパッケージや商品の端面、突起、バリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際は保護手袋を使用するなど十分に注意してください。
- ・本商品のご購入後は速やかに構成部品の不具合や異常がないことを必ずご確認ください。万一お気付きの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へご相談ください。
- ・安全に使用するためにフロントブレーキをロック状態で使用してください。
- ・使用の際は安全確保のために2人以上で行なうことをオススメします。
- ・作業は周囲の安全を確保し、水平で滑りにくい安全な場所で行なってください。またスタンドを掛けた状態で車両が安定していることを確認し作業を始めてください。
- ・スタンドの使用前に、必ずスタンド各部に異常やボルト類が緩んでいないか確認してください。
- ・車両の整備する箇所のボルトやナットは、あらかじめ緩めた状態にしてからスタンドを使用してください。またスタンドを掛けた状態で本締め作業は不安定となるため絶対にしないでください。
- ・本商品の高さ調整はリアタイヤが少し浮く程度に調整してください。高く調整するとスタンドが掛けづらく不安定になります。



高温注意

- ・作業を始める前にエンジンやマフラーが十分に冷えていることを確認してください。冷えていない状態で作業を行なうとエンジンやマフラーに触れてヤケドをする可能性があります。



その他

- ・本商品を使用したことによる物的損害や人的損害などの保証は一切お受けできません。また商品保証は本商品のみが対象になります。
- ・本商品は片持ちスイングアームの車両には使用できません。
- ・左右で段違いになるスイングアームには使用できません。
- ・本商品の使用時に車両が転倒した場合、車両と床に挟まれて重大なケガにつながる可能性があります。作業は十分に注意し行なってください。
- ・本商品の使用中に異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、必ずお買い求め販売店へご相談ください。
- ・本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。溶接や塗装、小キズ、歪みなど程度の差がございますが、仕上り品質はお手元の商品程度となります。あらかじめご了承ください。
- ・本商品、または本書内でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

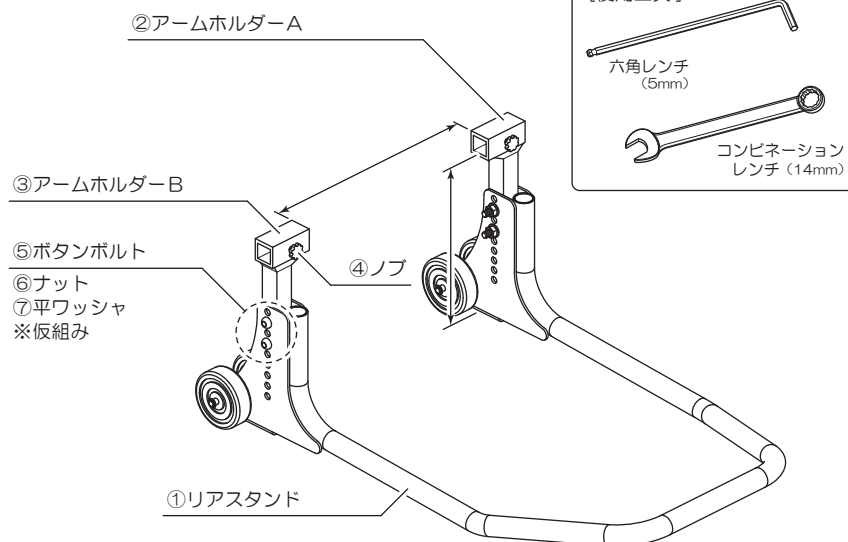
スペック

NO	品名	数量
①	リアスタンド	1
②	アームホルダー A	1
③	アームホルダー B	1
④	ノブ	2
⑤	ボタンボルト (M8×50)	4
⑥	ナット (M8)	4
⑦	平ワッシャ (M8)	4

『リアスタンド 3 スペック』

- 耐荷重 : 200kg
- アーム幅 (内 - 内) : 380mm
- アーム幅 (外 - 外) : 415mm
- リフトアップ可動範囲 : 208 ~ 309mm
- 高さ調整 : 9 段階

※寸法はリアスタンド 3 本体のみの参考値です



取扱方法

【作業前の注意事項】

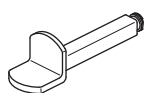
- ・周囲の安全を十分に確保し、平らで安定した場所で、フロントブレーキをロックしてフロント側を固定した状態でご使用ください。
- ・リアスタンドを使用する前に、メンテナンス作業に関する箇所のボルトやナットは、緩めて仮組みの状態でご使用ください。
- ・リアスタンドの使用中に各部のボルトやナットの本締めをしないでください。
- ・リアスタンドがマフラーやスイングアーム、アクスルシャフト、リアフェンダーなどに接触しないか必ず確認を行なってください。

01. アタッチメントの選択

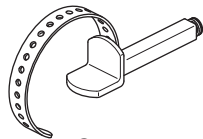
- ・車両に合わせてアタッチメント（別売品）を選びます。

※①、②、⑤、⑥のアタッチメントを使用する際はスイングアームの傾斜がきつい車両には使用しないでください。リフトアップ後に車両が滑り落ちる危険性があります。

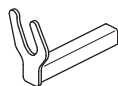
各種アタッチメント（別売品）



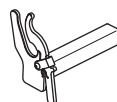
① L型
アタッチメント



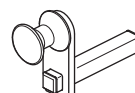
② L型
アタッチメント
バンド付



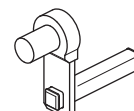
③ U型
アタッチメント



④ U型クランプ
アタッチメント



⑤ オフセット
アタッチメント



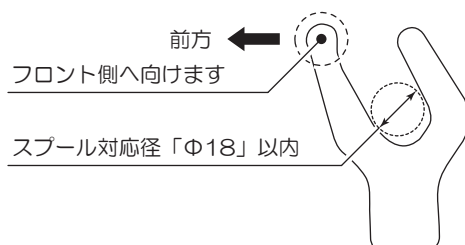
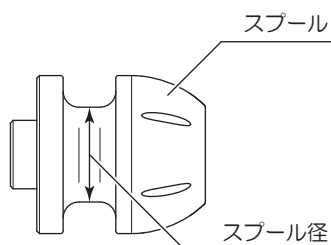
⑥ オフセット
アタッチメント
角型

02. 調整範囲の確認

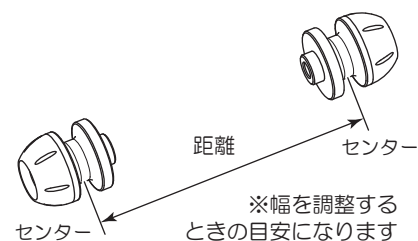
◎以降の説明は、L型またはU型のアタッチメントをベースに説明しております。これ以外のアタッチメントは、それぞれに付属の取扱説明書を参考にご使用ください。

- ・各イラストを参考に、車両に合わせてスタンドの幅と高さを調整します。
- ・U型アタッチメントを使用時は、車両側スプールの太さや寸法を確認します。

スプール対応径

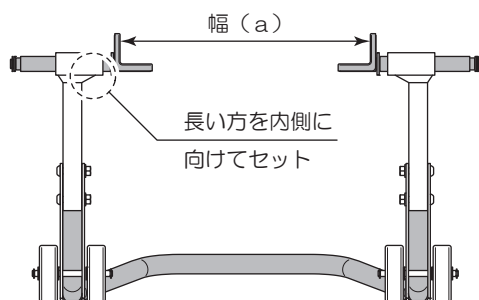


スプール間の距離



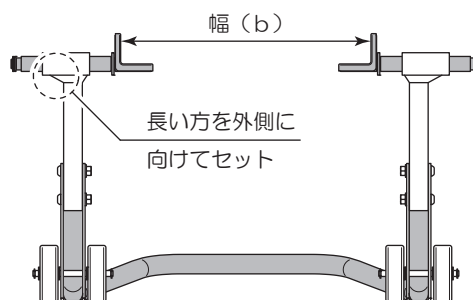
L型&U型アタッチメントのセット時のスペック

幅調整範囲（内側セット）



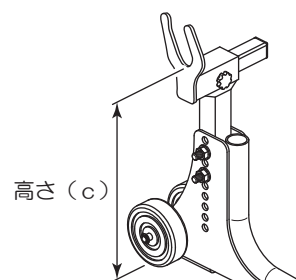
L型：260～350mm
U型：260～370mm

幅調整範囲（外側セット）



L型：300～390mm
U型：300～410mm

高さ調整範囲

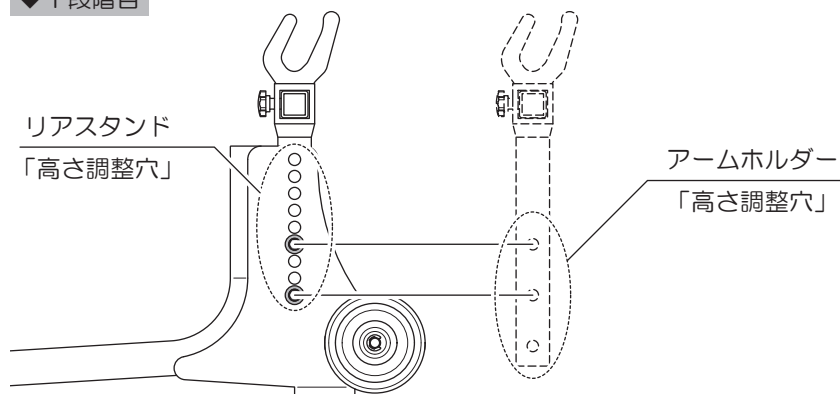


L型：218～319mm
U型：242～343mm
※9段階調整

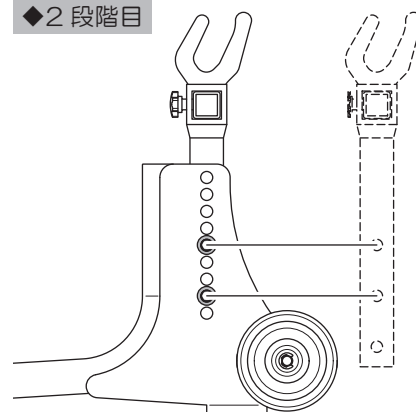
※数値は参考寸法です。数値を目安に調整してください

03. 高さ調整の方法

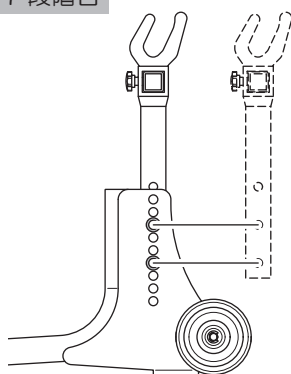
◆1段階目



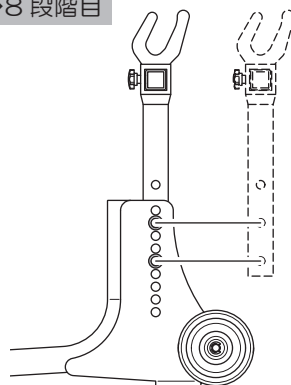
◆2段階目



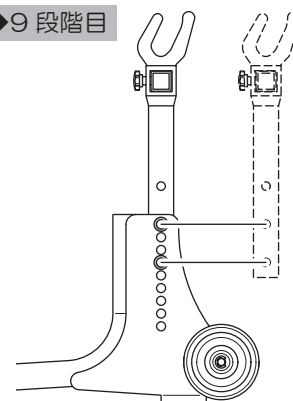
◆7段階目



◆8段階目



◆9段階目

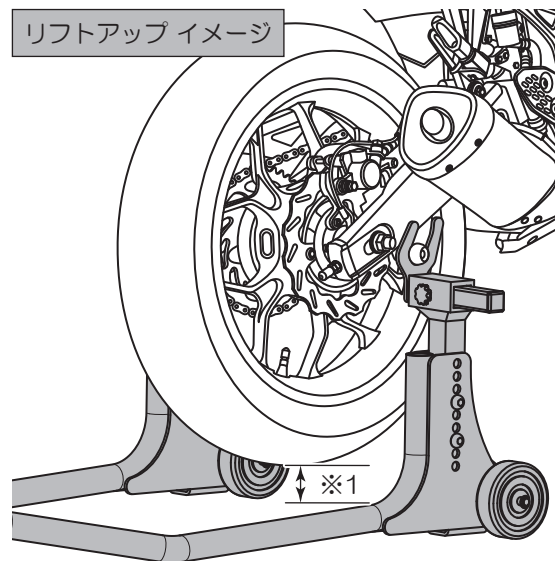
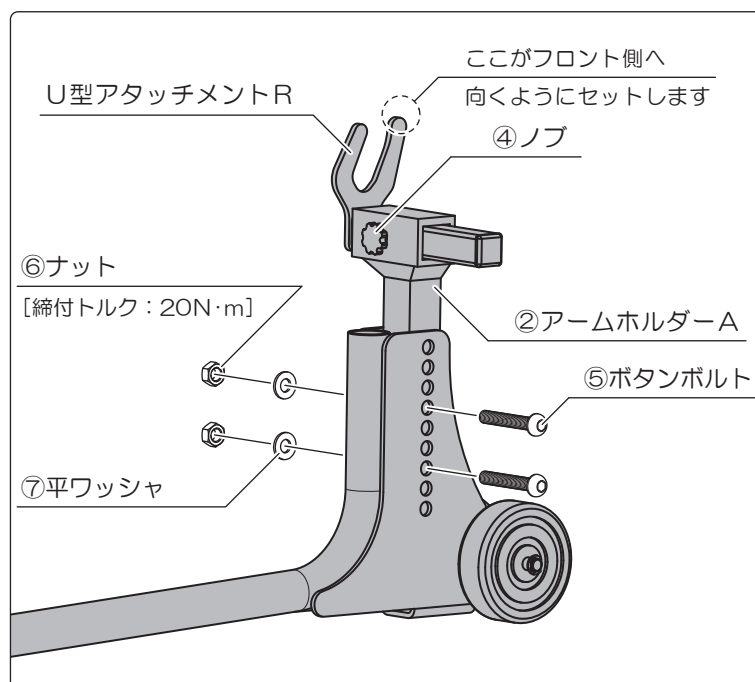


※3～6段階目は一段ずつ順番に上げるためイラストより省略しております。

※アームホルダー側の穴位置を下側にすることで7～9段階目の高さに調整できます。

04. リアスタンドの組み立て ※イラストはU型アタッチメントを使用した際のイメージになります

- 手順01～03と下イラストを参考にリアスタンドを組み立てます。
- ※リアスタンドの高さは、リフトアップした際にリアタイヤが少し浮く程度に調整するとリフトアップがしやすく、車両が安定します。「右下イラストの※1の内容」を考慮して高さを調整ください。
- 調整が完了したら、⑦ノブを締め付けて各種アタッチメントを固定します。

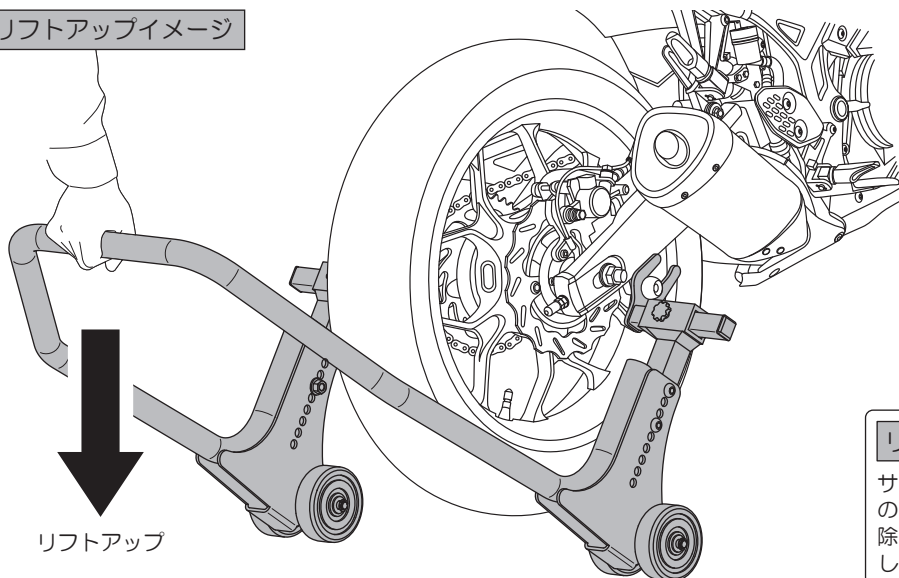


※1…タイヤが地面に近いほど車両が安定しやすく、リフトアップもしやすくなります。ただし、タイヤ交換などタイヤ外径が変化する場合やメンテナンスの作業内容に合わせて、高さ調整を行ってください。

05. リフトアップ

- ・車両が前へ動かないようにフロントブレーキをロックします。
※フロントブレーキのロックには別売品「フロントブレーキロック：品番 91712」などのご使用をオススメします。
- ・リアスタンドをスプールに引っ掛けて車両にセットします。
※スプールにU型アタッチメントが確実に入り、簡単に抜けないことを確認してください。
※U型アタッチメントの幅が合わない場合は、再度調整しなおしてください。
- ・ハンドルを真っ直ぐにし車両を垂直に立てて慎重にリフトアップします。
※リフトアップ中に車両が上がりすぎると思われる場合は、車両をもとに戻し、再度高さ調整をしなおしてください。
※ハンドルがきれているとリフトアップ時に車両がバランスを崩して転倒する恐れがございます。ご注意ください。

リフトアップイメージ



△注意

※車両が前へ動かないようにフロントブレーキをロックさせてください。

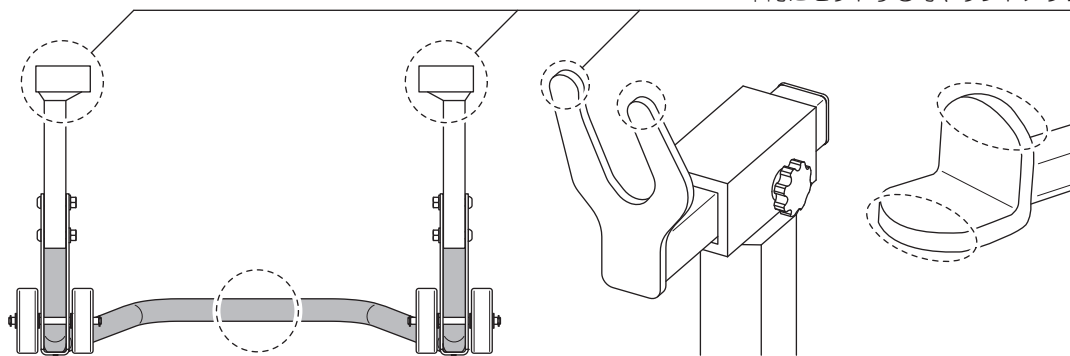
リフトダウン時

サイドスタンドを出し、リフトアップと逆の手順でリアスタンドをゆっくり上げて解除します。その際、車両が右側に傾き転倒しないように注意してください。

リフトアップ前の注意事項

- リアスタンドを使用しメンテナンスをする際は以下のことにご注意ください。車両の転倒や車両に挟まれるなど、事故やケガの原因となります。
- ・リアスタンドの使用前に車両側のメンテナンス作業に関連する箇所のボルトやナットは緩めて置き、仮組みの状態でご使用ください。
- ・リアスタンドの使用中に、各部のボルトやナットの本締めをしないでください。
- ・車両が水平に持ち上がるように各部の高さ調整をしてください。
- ・リフトアップする際にマフラーやスイングアーム、アクスルシャフト、リアフェンダー、キャリパーなどが接触していないことを確認ください。

車両にセットする時やリフトアップ時に注意



- ・車両が安定していることを確認し、各部の点検を行ない、異常がなければメンテナンス作業を開始してください。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。
※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限り、個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。
3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読のうえ、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意のうえ、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

転載
禁止

本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止

〒437-0226 静岡県周知郡森町一宮4805

<https://www.daytona.co.jp>